

平成 30 年度第 4 回緑区支え合いのまち推進協議会議事要旨

【開 催】

開催日時 平成 31 年 3 月 16 日（土）14：00～16：30

開催場所 緑保健福祉センター2 階 大会議室

出席者 委員 21 名中 15 名出席、代理出席 2 名、ガイドヘルパー1 名
緑区長、千葉市保健福祉局地域福祉課 2 名、
事務局 5 名（緑保健福祉センター所長、高齢障害支援課 2 人、
社協緑区事務所 2 名）
オブザーバー1 名（緑区連協会長）

【次 第】

- 1 開 会
- 2 緑区長挨拶
- 3 議 題
広報誌「みどりのきずな第 3 7 号」の承認について
- 4 発 表・協議
(1) 重点取組項目の進捗状況報告について（社協地区部会）
(2) 緑区支え合いのまち推進計画の進捗状況（平成 30 年度）【社協緑区事務所】
(3) 事業活動報告について
(4) 運営方法について
- 5 その他
PR ビデオについて【地域福祉課】
- 6 閉 会

【議事及び質疑要旨】

議題 広報誌「みどりのきずな第 3 7 号」の承認について

（中村和委員）「みどりのきずな第 3 7 号」のについては、5 月上旬から中旬に発行予定である。内容については、正副委員長で確認をしているので、この場で承認願いたい。なお、何か訂正等があれば 3 月中に事務局まで連絡願いたい。

（岡本委員長）少し確認していただく時間をとらせていただき、承認については後程諮りたいと思う。

※後程、出席委員全員の承認が得られた。

発表・協議（１）重点取組項目の進捗状況報告について（社協地区部会）

（岡本委員長）発表については、今年度の成果と課題、その課題を克服するために次年度はどうするのか、ということを中心をお願いしたい。

【誉田地区部会】

（大塚委員）資料５－１の内容を発表。（「２６見守り活動の推進」については時田氏が説明）

本日の資料に「事業活動報告書」というＡ４の資料を付け足させていだいた。計画の項目の中で、自分が認識している活動や自分ができるようなものを挙げてあるので、後程ご覧いただきたい。

（時 田 氏）資料５－１の内容を発表（「２６見守り活動の推進」についてを発表）

「見守り活動スタートガイド」についてはもう少し簡略化し、周知していきたい。今年度は、組織的な活動の立ち上げには至らなかったが、ある地域では近所の方同士で見守り活動を行っているという話も伺っているので、このような活動を大きく広げていきたいと思っている。

【椎名地区部会】

（本田委員）資料５－２の内容を発表。

「４ 障害者（児）が集う開設・拡充・情報提供」の達成状況だが、４年生への出前講座が実施できなかったため「Ｃ」としたが、３、５、６年生には実施できたので、「Ｂ」とさせていただきたい。３１年度は４年生も交え、障害者に対する思いやりの心を植えつけていきたい。

「２６ 見守り活動の推進」や「３１ ボランティアの確保」については、いずれも高齢化により、なかなか担い手の集まりが悪くなっていることから、次年度の課題として捉えている。我々の活動自体は、住民の方に理解していただいているので、これからは若い方にも参加してもらえよう、呼びかけていきたい。

「重点項目以外の活動」については、民児協とタイアップする等し、老々介護の状況や高齢者の生活状況等を把握していきたいと考えている。

【土気地区部会】

（茂田委員）資料５－３の内容を発表。

【おゆみ野地区部会】

（中村輝委員）資料５－４の内容を発表。

おゆみ野地区では、主に子どもたちを地域でどう育てていくのかという目標を持って活動している。

第４期計画では、７項目を重点取組項目としており、今年度の達成状況の中では「Ｃ」評価はなかったものの、「Ｂ」評価のものについては、来年度は強化していきたいと思っている。

(岡本委員長) 各地区部会エリアの課題については、31年度の目標に掲げられていくかと思う。4地区部会エリアからの報告について、何か質問等あるか。

(大塚委員) 土気地区部会の「24 助け合い活動の推進」等にある、「シニア支援の会」という組織はどういう組織なのか。

(茂田委員) 大木戸台自治会内で助け合い活動を行っているボランティア団体の名称である。民生委員の方等、有志の数々が立ち上げ、現在は土気地区部会の推進員も協力し、活動している。

(岡本委員長) 土気地区部会エリアの「26 見守り活動の推進」にある、「大椎台」は毎日活動を行っているというが、具体的にどういう活動を行っているのか。

(茂田委員) 見守られることを希望した方を対象に、さりげない見守りを実施していると伺っている。

(廣田委員) 自分の兄が大椎台に住んでおり、聞いた話では、まず見守り希望者と協力者を募集し、犬の散歩などの時に外からの見守りを行い、何か異常があった時には声を掛けるというルールで、可能な限り毎日実施しているようである。

(岡本委員長) おゆみ野地区部会エリアの「26 見守り活動の推進」については、民生委員が見廻っているということによいか。

(中村輝委員) おゆみ野地区には、民生委員が約50名おり、独居高齢者を重点に見守っている。民生委員を中心に町内自治会の方にも協力いただく場合もある。

(岡本委員長) 椎名地区部会エリアは、さりげない見守り活動を行っているということであるが、何かあるか。

(本田委員) 椎名地区では、古市場団地で孤独死が発生したことから、古市場団地で見守り活動が行われている。見守られる方によっては、あまり立ち入った見守りをしてほしくないという意見もあり、最近では外から見守りを中心に行っている。

(岡本委員長) 誉田地区部会エリアの見守り活動は、どのような感じか。

(時 田 氏) 誉田地区部会エリアでは、希望者に応じて、さりげない見守り、電話による見守り、訪問での見守りを行っている。ボランティアの方、自治会の方、民生委員が連携し、月に1回程度活動している。

(岡本委員長) 達成状況を「C」と評価した理由は何か。

(時 田 氏) 活動を1か所増やすことを目標にしていたが、達成できなかったためである。

発表・協議（２）緑区支え合いのまち推進計画の進捗状況（平成 30 年度）【社協緑区事務所】

（猪 野）資料 6－1～5 の内容を発表。

資料 6－1～5 の資料は、今年度の計画の推進状況について、地域福祉課に報告をする資料である。資料 6－1～4 は各地区部会エリア毎の推進状況、6－5 は取組テーマ別の達成状況等が記載されている。なお、6－5 には、今年度の推進協議会の開催状況と区の地域福祉に関する好事例等も記載されており、好事例には「大木戸台シニア支援の会」の活動を紹介している。この内容で地域福祉課に提出したいと考えているので、ご承認いただきたい。

（岡本委員長）資料 6－1 の誉田地区部会エリア「㊸見守り活動の推進」の達成状況は「C」となっているが、活動そのものは活発に行っているので、「B」としてもよいのではないかと。

発表・協議（３）事業活動報告について

— 町内自治会連絡協議会 —

（事務局）今回の発表は、主に「1 年間の振り返り」と「来年度の活動予定」について発表をお願いしたい。

【おゆみ野泉谷自治会】

（松戸委員）資料 7－1 の内容を発表。

おゆみ野泉谷自治会では、毎年自治会員に見守りに関するアンケートを実施し、見守り活動を行っている。

見守り以外にも個人宅の 1 室を開放して井戸端会議的集会所の準備を進めており、先日も花見川区に視察に行ってきた。また、高齢化問題の対応として、認知症サポーター養成講座も実施した。

（事務局）ただいまの発表について、ご意見、ご質問があるか。

（岡本委員長）見守り希望者への見守り活動は実際に行われているのか。

（松戸委員）見守りする側の方がさりげない見守り活動を行っている。

（岡本委員長）活動頻度はどれくらいか。

（松戸委員）希望者によって違うが、見かけた時は声をかけるようにしている。

— 民生委員児童委員協議会 —

【第５０１地区】

（時 田 氏）資料７－２の内容を発表。

【第５０２地区】

（吉田委員）資料７－２の内容を発表。

（事 務 局）以上２つの発表について、ご意見、ご質問があるか。

（岡本委員長）５０２地区の具体的な内同内容のところに、「慰問金配布などの資料」とあるが、慰問金は具体的にいくら支給しているのか。

（時 田 氏）交通遺児慰問金が５千円、１５歳未満の重度の障害者の方への慰問金は４千円である。

（岡本委員長）高齢者には支給していないのか。また、全体で何人くらいになるのか。資金はどこから出るのか。

（高吉所長）高齢者には支給していない。また、平成２９年度において、市内全体で、交通遺児歳末慰問金は１７人、歳末慰問金は４６６人だった。資金については、千葉市社会福祉協議会から支給させていただいている。

また、支給対象者は、交通遺児歳末慰問金では、千葉市内に在住する交通遺児で、小学校及び中学校に在学する児童。歳末慰問金では、特別児童扶養手当受給者で、６歳（小学校１年生）から１５歳（中学校３年生）までの児童を養育する者である。

— ボランティア —

【すこやかネットみどり】

（中村和委員）資料７－４の内容を発表。

取組状況の「１．福祉有償運送サービス」は、１月までの累計で、目標の８３％に対し実績が６８％に留まり、目標に対し△１５％も下回った。

（事 務 局）以上の発表について、ご意見、ご質問があるか。

※特になし

— 高齢・障害 —

【緑区老人クラブ連合会】

（茂庭委員）資料７－５の内容を発表。

今年度の計画は全て実施できたので、評価としては「Ａ」を付けられるのではないかと思います。なお、資料の「取組状況」の人数等抜けている部

分について、確定したので報告させていただきます。

項目	誉田地区		平山地区		土気地区		合計	
	実施日	参加人数	実施日	参加人数	実施日	参加人数	実施回数	参加人数
子供会育成交流ワナゲ大会	11/23(金)	13+46	3/9(土)	34+26	3/2(土)	14+16	3	149
後期グラウンドゴルフ大会	3/14(木)	54	3/2(土)	55	3/16(土)	25	3	134
後期ワナゲ大会	2/16(土)	62	2/23(土)	45	3/16(土)	39	3	146
後期ゲートボール大会	2/23(土)	21					1	21

【社会福祉法人常盤会】

(石本委員) 資料 7－6 内容を発表。

今年度の目標として、社会資源として地域に頼られる存在になるために、地域交流に主眼を置いた社会貢献活動を掲げ、主に「鏡戸幼稚園との交流」、「学術研究機関へのデータ提供」、「わくわく食事会の開催」、「小谷小学校との交流（学校と施設の交流小委員会事業）」を実施した。このことは中長期的な実践努力が必要なことであるため、来年度も同様の活動を行っていききたい。

【千葉市身体障害者連合会】

(廣田委員) 資料 7－7 の内容を発表。

我々は緑区だけで活動を行っている訳ではないが、市内の小学校を訪れ子どもと障害当事者との交流や、福祉講話等を行っている。来年夏のオリンピック・パラリンピックの開催に向けて、パラ競技への関心の気運が盛り上がっていることから、その状況も利用しながら、この活動をより一層強めていきたい。

また、再来月の5月12日（日）に青葉の森スポーツプラザで千葉市身体障害者スポーツ大会が行われる。恐らく、皆さんが見たこともない競技もあるかと思うので、ぜひ観戦していただきたい。

【社会福祉法人ワーナーホーム】

(三好委員) 資料 7－8 の内容を発表。

今年度は、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に力を入れ、緑区では緑区民児協の理事を対象としたミニシンポジウムの開催や緑区多職種連携会議において、精神障害者が使える制度や千葉市の状況等の説明を実施した。今後も普及活動を行っていききたい。

【社会福祉法くちなし セルフ・ガーデンハウス】

(小林委員) 資料 7－9 の内容を発表。

中学生への福祉教育については特に効果を実感できた。ふるさと祭りでは2020パラリンピック競技の体験を実施したところ、たくさんの市民が参加し関心を持ってくれていると感じた。施設からなるべく多く外

出する機会を作っているが、そうすることで障害を持った人たちが当たり前のようにお店に居るといった雰囲気を作りたい。国も「我が事・丸ごと」の地域づくりを推進しているが、我々も積極的に街へ出ていくことで、障害について理解をしてもらうことが必要かと思う。

(事務局) 以上5つの発表について、ご意見、ご質問があるか。

(岡本委員長) 資料7-5 緑区老人クラブ連合会の取組状況に社会奉仕事業とあるが、具体的にどのような活動を行ったのか。

(茂庭委員) クラブ毎に活動内容は異なるが、地元の町内自治会のお手伝い等を実施している。自分のクラブでは、公園の花壇への花植え、除草等の活動を行った。

(岡本委員長) 老人クラブ連合会の行事には子どもたちも参加できるのか。

(茂庭委員) 高齢者のみである。

(岡本委員長) 資料7-9 セルプ・ガーデンハウスさんの取組の中学校への福祉教育だが、何人くらいを対象に行ったのか。

(小林委員) 2学年を対象に実施した。1つの学校でおおよそ50～60人くらいであった。今年度実施できなかった2校についてはもっと多いかと思う。

(石本委員) 自分は越智中学校に生徒を通わせている保護者の一人であり、セルプ・ガーデンハウスさんが2年生向けに福祉教育を実施していただいた件で、後日談があるので紹介させていただく。

交流での体験をきっかけに、「世界に一つだけの花」の歌を手話を交えて歌いたいと考えた2年生が、施設の職員さんたちに相談したところ、利用者の皆さんが手話で歌う映像をDVDにまとめてくださり、その映像をもとに練習に励んだ。後日、千葉市文化センターで行われた越智中の合唱コンクールには、施設入所されている方お二人が職員さんとともに来場くださり、その皆さんに手話と合唱で歌をご披露することができた。入所者が街に出る機会の創出と、生徒の福祉への関心向上がマッチした、素敵な交流ができたことに、一保護者としても感謝申し上げる。

(大塚委員) 今回の「みどりのきずな」で、廣田委員が「心の輪を広げる体験作文」の最優秀受賞作品の記事を掲載しているが、可能であれば青少年育成委員会の行事等で朗読してもらえるとよいかと思う。また、2020年のオリパラに向けて、町民運動大会の一種目で障害者スポーツを紹介できればと考えている。セルプ・ガーデンハウスさんは、パラスポーツの紹介を行ったということなので、連携していただけるとありがたい。

(小林委員) 可能な限り対応させていただく。

(廣田委員) 今回、「みどりのきずな」の編集後記でも触れさせていただいたが、障害者に対する対応もハード面はたいぶ整備がされてきているが、歩きスマ

ホ、エスカレータを駆け上がるなど、障害者や高齢者にとって危険な行為は後を絶たない。

また、東日本大震災の犠牲者で、障害者が犠牲になった割合は、健常者の2倍という結果が出ている。

(小林委員) 社会的な弱者として、高齢者、子ども、障害者等が挙げられるが、高齢者や子どもへの対策は進んでいるが、障害者への対策はまだである。これからは障害者を中心に支援の対策を進めていけば、より支え合うやさしい街づくりができるのではと思う。

また、我々の施設を含め、障害者や高齢者の施設では、拠点福祉避難所ということで、千葉市と協定を結び、災害時にはより専門性の高いサービスを必要とする方を受け入れられる体制を整えている。

— あんしんケアセンター —

【あんしんケアセンター鎌取】

(高橋委員) 資料7-10の内容を発表。

【あんしんケアセンター土気】

(佐藤氏) 資料7-11の内容を発表。

(事務局) 以上2つの発表について、ご意見、ご質問があるか。

(大塚委員) 来年度から誉田地区(第12地区)町内自治会連絡協議会が2つに分かれるので、あんしんケアセンターにもいろいろ協力願いたい。

(高橋委員) 承知した。

(岡本委員長) ワオンカードとはどういうものなのか。

(山崎区長) 「ちばシティポイント」というものであり、ボランティア活動などすると、WAONポイントや千葉市ならではの特典などに交換できる。

(岡本委員長) それはどこでできるのか。

(山崎区長) まず、区役所やイオングループショッピングセンターなどで、「ちば風太WAONカード」を発行してもらう必要がある。そのカードをもって市のポイント対象事業などに参加すると、ちばシティポイントが貯まるようになる。

(本田委員) 地域で行われている見守り活動も対象となるのか。

(山崎区長) 対象にはならない。後ほど、対象事業一覧を配付させていただく。

発表・協議(4) 運営方法について

(岡本委員長) 今年度の緑区支え合いのまち推進協議会を振り返ってみて、事務局の方から何かあれば、お願いしたい。

(土谷補佐) 昨年度までは、地区部会の方々が計画推進の中心となり、発表も地区部会の委員が行ってきたところであるが、今年度からは、地区部会以外の委員の活動についても情報交換を行うという意味で、委員の皆さまの活動についても発表をいただいていた。しかし、せっかく発表いただいた素晴らしい活動についての評価も行うべきであったかと、事務局としての反省点も多かった。なお、来年度以降の運営については、委員長と相談しながら考えていきたいと思う。

この1年間、皆様のご協力のもと、この会が進められたことに感謝申し上げる次第である。

その他 PRビデオについて【地域福祉課】

(黒木主査) 資料 千葉市記者発表資料 「地域共生社会の実現に向けた地域における取組のPR映像を作成しました！」を基に説明。

地域の支え合い活動の立ち上げのところにフェーカスをあてて、PRビデオを作成し、国に審査いただいたところ、優秀賞という評価をいただいていたので紹介させていただく。

※委員の皆さまにPRビデオをご覧いただく。

今後、地域での支え合い活動の推進にあたり、ご活用いただきたい。

自分も、この協議会に3年間この会議に参加させていただいたが、年々レベルも上がり勉強させていただいている。目標に対する成果と課題というところが、次の目標へと繋がっていくのかと思われるので、引き続きお願いしたい。

その他 事務局より

※事務局を代表し、緑川所長よりお礼の挨拶と今後の運営についての説明がされた。

内容は以下のとおり

「この1年間、岡本委員長また各委員の皆さまにおかれましては、この会を成功に導いていただき、ありがとうございました。感謝申し上げます。また、緑区連協の大槻会長におかれましても、オブザーバーとしてご参加いただきましてありがとうございました。来年度におきましては、これから委員長と話を詰め、より良い会を運営していきたいと思っておりますので、どうぞご協力お願いいたします。

さらに、区連協の会長様方のご出席についても、事務局の方から一層働きかけて参りますので、どうぞよろしくをお願いいたします。最後になります

が、その際にはこの場をお借りしまして、皆さまのご了承・ご協力をお願いいたします。

改めまして、1年間本当にありがとうございました。」

※事務局より平成31年度第1回緑区支え合いのまち推進協議会は6月を予定しているとの連絡があった。

委員長が閉会を宣し、第4回緑区支え合いのまち推進協議会は散会。